

「前之浜小学校の前之浜のチョイのチョイ踊り伝承活動の取組」

1 学校名

鹿児島市立前之浜小学校

2 学年・人数

3・4・5・6学年（計24人）

3 日時・場所

(1) 練習の日時・場所

令和3年6月～9月 総合的学習の時間（本校体育館・運動場）

(2) 発表の日時・場所

令和3年10月3日（日）小学校運動会

4 伝承・活用に取り組んでいる郷土芸能、伝統行事について

(1) 名称

前之浜のチョイのチョイ踊り（まえのはまのちょいのちょいおどり）

(2) 由来

伝承によると200年もの間、門外不出で前之浜地区に伝えられているとされている。元々は男子のみで踊られていた。戦の際になかなか敵城を落とせないため、化粧をして女性に化け、敵を油断させて攻めたという故事に由来するという説もあるが、定かではない。扇子と刀を持って戦闘の様子を再現するが、地元では慶事の際に踊られてきた伝統がある。

(3) 構成等

鉦を持ち鬼面を被った二人に先導された踊り子が鉦を鳴らしながら厳かに入場する。踊り子の前歌に続き、年長者の踊り歌に合わせ、刀を勢いよく振りかぶり扇をパット開くのが前之浜校区に二百数十年前から伝わる郷土芸能「チョイのチョイ踊り」の特徴である。優雅にして勇壮な踊りと表される。

5 保存会や地域との連携の具体

昔は前之浜の川上集落に伝わるものだったが、時代の流れとともに前之浜全体で踊られるようになり、現在はチョイのチョイ踊り保存会が中心になって、地域の伝統芸能を守っている。保存会の指導に当たって「個性あふれる学校づくり推進事業」を活用し、講師の負担軽減と伝承活動の持続に取り組んでいる。

6 文化財伝承・活用の取組の工夫した点

前之浜小学校では、郷土への愛情や誇りをもち、そのよきを守り伝え、その発展に主体的に貢献しようとする態度を育むために、3・4年生が総合的な学習の時間に郷土芸能「チョイのチョイ踊り」を学んでいる。

保存会の方を講師に、踊りの歴史について調べ、実際に踊りを教わる。保存会の方々の熱い指導もあって、子供たちはみるみる上達していく。そして、運動会で新しく踊りをマスターした3・4年生と5・6年生全員で華麗に舞う。例年であれば「喜入地域文化祭」など様々な機会に踊りを披露し、地域の大切

な郷土芸能の伝承に貢献しているが、昨年度に引き続き、本年度も新型コロナウイルス感染拡大防止の為、諸行事が相次いで中止になった。その為、運動会のみでの披露となったのが残念である。来年度こそは、たくさんの場で伝承した踊りを披露する子供たちの姿を楽しみにしている。

7 取組の様子（練習状況、発表の場等）

○運動会に向けての練習風景



○運動会での発表



8 参加児童生徒・教員等の感想・意見

（3年児童のお礼状より）

- ・ 初めて踊った時は、「こんなのできないよ。」と書いていたけれど、段々慣れてくると楽しくなってきました。踊りを忘れてごちゃごちゃになってしまうこともあったけど、一生懸命教えてくださり、上手に踊れるようになりました。運動会の際は緊張したけれど、練習の成果が出せてよかったです。来年の3年生が初めて踊るとき、困っていたら教えてあげたいです。ありがとうございました。
- ・ これからもチョイのチョイ踊りを踊っていきます。後輩たちにも教えたいです。

（教師の感想より）

感染症対策により、例年より練習時間を短縮して行った。新しく学ぶ3年生が覚えられる(踊れる)かどうか心配したが、保存会の皆様の熱心なご指導と子供たちの頑張りで、運動会当日、たくさんの方々の前で堂々と披露することができた。この取組では上級生もリーダーシップを発揮し、下級生に積極的に関わっていた。前之浜の素晴らしい伝統として、これからも前之浜の子供たちにこの踊りを受け継いでいってほしい。